

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日午前9時から浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

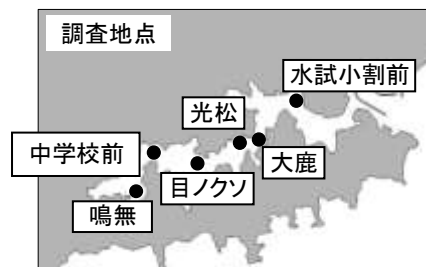
検鏡の結果、魚類に対して有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で400cells/ml、シャットネラ属が最高で280cells/ml、デイクチオカ・フィビュラが最高で80cells/ml、ケラチウム属が最高で16cells/ml確認されました。

シャットネラ属は鳴無から大鹿の観測点で漁業被害が想定される細胞密度を超えています。
慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン (cells/ml)

		ヘテロシグマ・アカシオ	シャットネラ属	デイクチオカ・フィビュラ	ケラチウム属	カレニア・ミキモイ	珪藻類
中学校前 透明度:4.2m	0m	0	0	0	0	0	1,050
	2m	0	10	0	1	0	2,150
	5m	0	130	80	2	0	500
目ノクソ 透明度:3.4m	0m	80	0	0	4	0	3,200
	2m	110	71	1	11	0	1,300
	5m	140	230	10	4	0	3,600
光松 透明度:3.0m	0m	180	1	0	0	0	4,150
	2m	200	5	0	7	0	3,350
	5m	70	240	50	6	0	5,450
大鹿 透明度:3.1m	0m	300	5	0	2	0	5,300
	2m	300	280	10	2	0	8,200
	5m	120	150	50	0	0	2,950
水試小割前 透明度:3.3m	0m	400	0	0	0	0	6,200
	2m	150	0	0	0	0	3,900
	5m	110	7	0	0	0	4,900
鳴無 透明度:2.9m	0m	0	0	0	1	0	0
	2m	0	12	4	16	0	0
	5m	1	43	72	9	0	0



漁業被害が想定される細胞密度

- ・ヘテロシグマ・アカシオ:
10,000~50,000cells/ml(魚類のへい死)
- ・シャットネラ属:
10~100cells/ml(魚類のへい死)
- ・デイクチオカ・フィビュラ:
赤潮発生時(魚類のへい死)
- ・ケラチウム属:
100cells/ml(餌食いの悪化)
- ・カレニア・ミキモイ:
数百~数千cells/ml(魚類等のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>